

2015年度

## 第55回 日本社会学史学会大会プログラム

期日：2015年6月27日（土）～28日（日）

会場：京都大学（文学部新館2F・第3講義室）

☆第一日目 6月27日（土）

I 理事会（12時～12時50分）

II 開会の辞（12時55分～） 日本社会学史学会会長 中島道男

III 一般研究報告1（13時～14時15分） 司会 宇都宮京子（東洋大学）

①戦時下における「没価値性」論争

—湯村栄一と三木清—

徳山弓恵（日本大学）

②価値解釈と資料操作

—「倫理」論文における手法とその意義—

井腰圭介（帝京科学大学）

③モラル強靱化の社会科学構想

—Committee For National Morale, 1940-1941—

吉田耕平（首都大学東京）

IV 一般研究報告2（14時25分～15時40分） 司会 徳田剛（聖カタリナ大学）

④ジンメルとタルドの社会学

池田祥英（東洋英和女学院大学）

⑤集合的沸騰の分析—溶解・拡大・連鎖—

岡崎宏樹（神戸学院大学）

⑥リスクが社会的不平等研究の対象となる学説上の理由について

—ダーレンドルフにおけるアリストテレスと

ルソーの対比を共通点として—

川端健嗣（成蹊大学）

V 一般研究報告3（15時50分～16時40分） 司会 浜日出夫（慶応義塾大学）

⑦経験的問題としての機能分化—システム理論は行為の説明に

どのような貢献ができるのか—

高橋顕也（大阪医科大学）

⑧生活世界の未来構造試論

—peer to peer の不可避的帰結—

森 元孝（早稲田大学）

VI 総会（16時40分～17時10分）

VII 懇親会（17時30分～20時）

《文学部1F・第1・第2講義室》

☆第二日目 6月28日(日)

VIII シンポジウム (13時～16時30分)

共通テーマ 《 社会学理論の最前線 ―時間― 》

司会 森 元孝 (早稲田大学)

出口剛司 (東京大学)

- 報告1 「社会学の基本概念としての時間  
―現象学的社会学と社会システム理論の観点から―  
多田光宏 (熊本大学)
- 報告2 「批判理論としての社会的加速化論  
―R o s a 理論の射程―  
伊藤賢一 (群馬大学)
- 報告3 「アクターの経験と時間  
―トゥレーヌ派 S. Tabboni の議論を中心に―  
濱西栄司 (ノートルダム清心女子大学)
- 討論者1 佐藤成基 (法政大学)  
●討論者2 三上剛史 (追手門学院大学)

趣旨説明 (13時 ～13時10分)

報告 (13時10分～14時25分)

休憩 (14時25分～14時40分)

討論 (14時40分～15時10分)

リプライ (15時10分～15時30分)

フロア・総括 (15時30分～16時30分)

## 【大会のご案内】

- 報告時間 自由報告は25分（報告15分、質疑応答10分）  
シンポジウムの報告時間は各25分、討論者発言は各15分
- 大会参加費 一般会員2,000円 学生会員・非会員1,000円
- 懇親会費 4,000円
- 大会・総会会場 文学部新館2F・第3講義室
- 会員控え室 文学部新館2F・第5講義室
- 理事会会場 文学部新館2F・第3演習室
- 懇親会会場 文学部新館1F・第1・第2講義室
- 論文抜刷および書籍等扱い 1週間前までに事務局へ文書を持って必ずお申し出ください  
大会当日の申し込みは一切お受けできません。厳守ください
- コピーについて コピーは個人の責任でお願いします。大会開催校および事務局では、  
一切のコピーサービスをお断り申し上げます
- 開催校所在地 〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
(大会連絡先) 京都大学大学院文学研究科社会学（田中紀行）研究室  
TEL 075-753-2448（研究室直通）
- 飲食施設 大会開催中の両日ともキャンパス内の食堂は営業しております  
正門脇「カンフォーラ」、時計台「ラトゥール」、西部構内「ルネ」  
をご利用ください。大学周辺に飲食店・コンビニ等もございます
- 交通機関 最寄り交通機関および学内案内は右図参照  
校舎案内 (詳細は、本学会HPおよび京都大学HPをご参照ください)

### ☆日本社会史学会事務局

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40  
日本大学文理学部社会学研究室  
TEL 03-5317-8978（庶務担当直通）  
FAX 03-5317-9423（学科研究室）  
（電話でのお問い合わせは、水・木）